

広報紙のあり方に関するアンケート
調 査 結 果 報 告 書

令和 7 年 6 月

糸魚川市 総務課

〈 目 次 〉

I 調査概要		1
II 調査結果		2
1 回答者の属性		2
2 アンケート結果		3
(1) 市の情報取得方法		3
(2) 広報紙の閲覧方法		4
(3) 広報紙の閲覧頻度		5
(4) 広報紙のページ数		5
(5) レイアウト変更		6
(6) 発行回数変更		7
(7) 自由記載		9

I 調査概要

■調査の目的

本調査は、市で発行し市内全戸に配布している広報紙について、各自治会の配布にかかる負担が大きいことなどを理由に、市民から発行回数の見直しを求める意見が寄せられていることから、市民から広く意見を聞き、今後の広報紙のあり方の検討の一助とすることを目的とする。

■調査対象

市で発行する広報紙（広報いといがわ・おしらせばん）の読者

■調査方法

○市役所・能生事務所・青海事務所・市内3図書館・市内各地区公民館にアンケート用紙を配置し、同じく配置した返信用封筒により郵送で回収

○広報紙・ホームページ・LINEでWEBアンケートフォームを周知し、回答を受付

■調査期間

令和7年5月9日から5月31日まで

※用紙は5月31日まで設置し、その後郵送されたものも対象とした。

■回答状況

有効回答数 346件（うち、用紙70件、WEBフォーム276件）

■回答状況

○比率はすべて百分率で表し、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。

○アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があるため、複数回答を求めた設問では、割合の合計が100.0%を上回る場合があります。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

■年齢

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
3	22	33	58	87	61	57	24	1	346
0.9%	6.4%	9.5%	16.8%	25.1%	17.6%	16.5%	6.9%	0.3%	100.0%

■居住地

糸魚川地域	能生地域	青海地域	市外	無回答	合計
196	63	69	3	15	346
56.6%	18.2%	19.9%	0.9%	4.3%	100.0%

■年齢×居住地

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
糸魚川地域	1	15	24	35	49	36	29	7	0	196
能生地域	1	2	3	8	16	12	15	5	1	63
青海地域	0	2	4	15	18	11	10	9	0	69
市外	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
無回答	0	3	2	0	3	2	2	3	0	15
合計	3	22	33	58	87	61	57	24	1	346

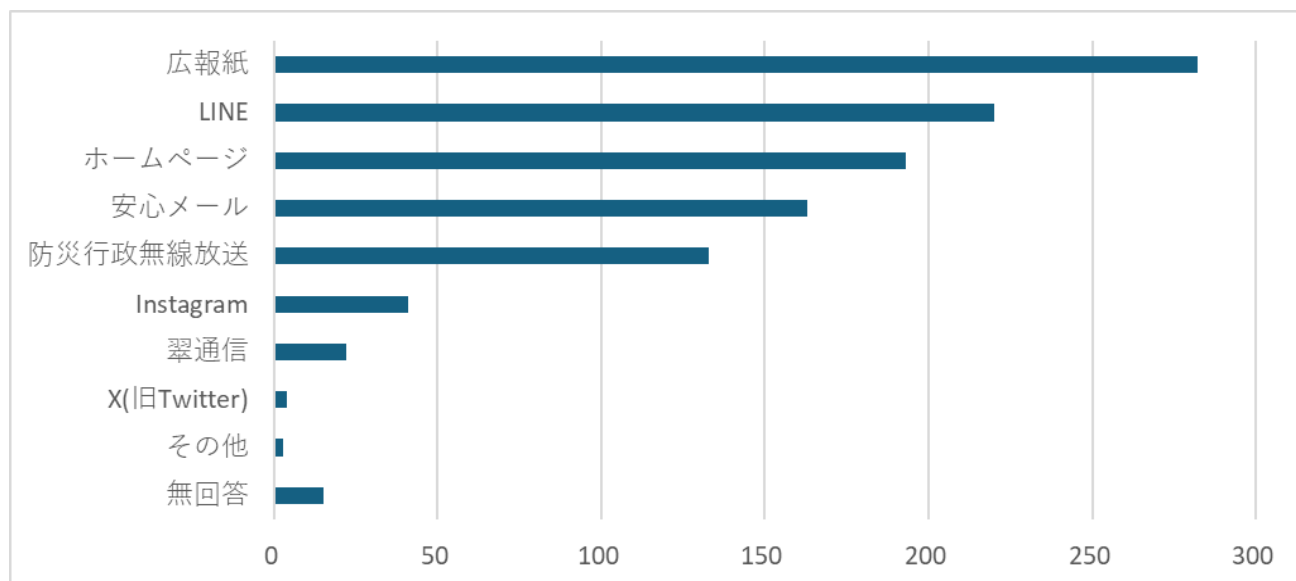
2 アンケート結果

(1) 市の情報取得方法

Q1 市が発信する情報をどのように取得していますか。（複数回答可） n=346

	広報紙	ホームページ	LINE	安心メール	防災行政無線放送	X (旧Twitter)
回答数	282	193	220	163	133	4
割合	81.5%	55.8%	63.6%	47.1%	38.4%	1.2%

	Instagram	翠通信	その他	無回答	合計
回答数	41	22	3	15	1,076
割合	11.8%	6.4%	0.9%	4.3%	311.0%



上位3種は割合にして、広報紙が81.5%、LINEが63.6%、ホームページが55.8%と、回答者の半数以上が情報源になっている。

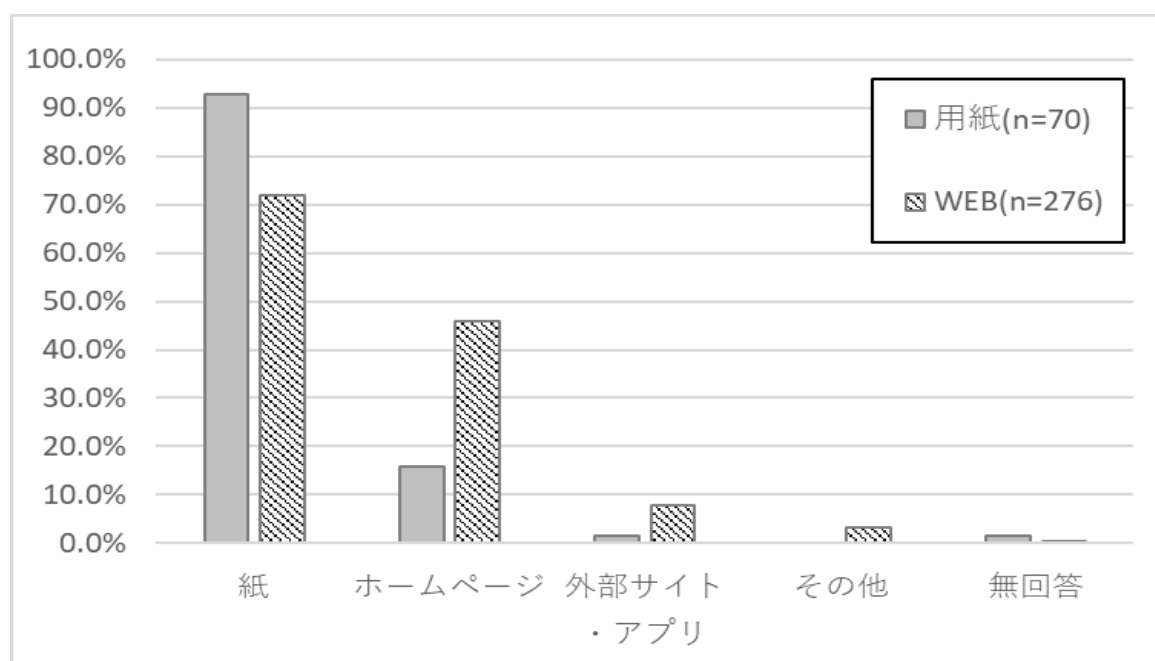
また、情報源が一人当たり平均で3.1個、単数回答が48件であることから、多くが複数の情報源から情報を取得していることがわかる。

(2) 広報紙の閲覧方法

Q2 広報紙はどのような方法で読みますか。（複数選択可） n=346

	紙	ホームページ	外部サイト ・アプリ	その他	無回答	合計
回答数	292	156	26	10	2	486
割合	84.4%	45.1%	7.5%	2.9%	0.6%	140.5%

アンケート回答方法別回答割合



自宅等に配布している紙媒体での閲覧が 84.4%と高い。また、ホームページでしか閲覧しない人が 13.3%と低いことから、紙媒体での配布効果が高いことがわかる。

アンケートの回答方法別で見ると、WEB フォームでの回答者のほうが紙媒体以外での閲覧割合が高い傾向にあるが、紙媒体での閲覧が 7 割以上を占めている。

(3) 広報紙の閲覧頻度

Q3 広報紙はどのくらいの頻度で読みますか。n=346

[広報いといがわ]

	毎号読む	だいたい読む (2回に1回以上)	たまに読む (年3回以上)	ほとんど 読まない	無回答	合計
回答数	264	53	19	10	0	346
割合	76.3%	15.3%	5.5%	2.9%	0.0%	100.0%

[おしらせばん]

	毎号読む	だいたい読む (2回に1回以上)	たまに読む (年3回以上)	ほとんど 読まない	無回答	合計
回答数	256	57	16	12	5	346
割合	74.0%	16.5%	4.6%	3.5%	1.4%	100.0%

(4) 広報紙のページ数

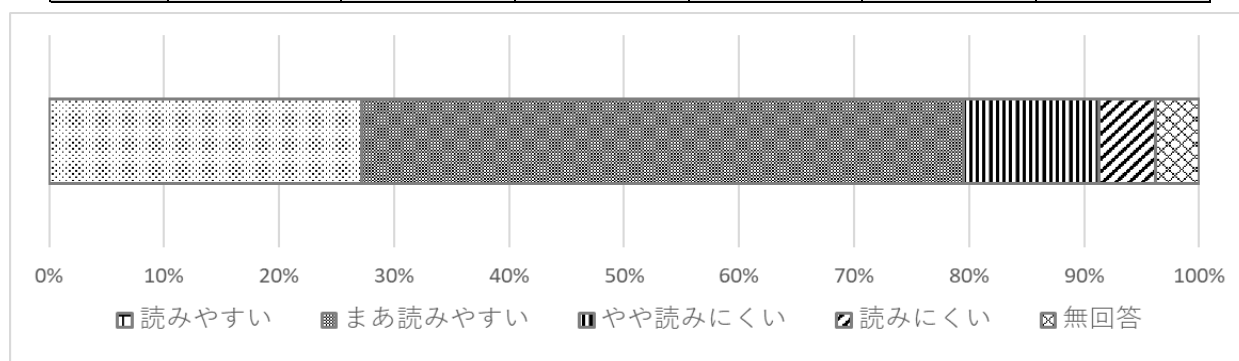
Q4 広報紙のページ数はいかがですか。n=346

	多い	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少ない	無回答	合計
回答数	21	30	263	18	6	8	346
割合	6.1%	8.7%	76.0%	5.2%	1.7%	2.3%	100.0%

(5) レイアウト変更

Q5 令和6年12月からお知らせばんのレイアウトを変更しましたが、
いかがですか。n=346

	読みやすい	まあ読みやすい	やや読みにくい	読みにくい	無回答	合計
回答数	94	181	41	17	13	346
割合	27.2%	52.3%	11.8%	4.9%	3.8%	100.0%



年代別回答割合

年代	n	読みやすい	まあ読みやすい	やや読みにくい	読みにくい	無回答
19歳以下	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	22	36.4%	40.9%	13.6%	4.5%	4.5%
30～39歳	33	33.3%	60.6%	6.1%	0.0%	0.0%
40～49歳	58	22.4%	63.8%	10.3%	3.4%	0.0%
50～59歳	87	26.4%	49.4%	14.9%	6.9%	2.3%
60～69歳	61	32.8%	54.1%	4.9%	4.9%	3.3%
70～79歳	57	12.3%	52.6%	19.3%	7.0%	8.8%
80歳以上	24	37.5%	37.5%	12.5%	4.2%	8.3%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

およそ8割が「読みやすい」または「まあ読みやすい」と回答していることから、レイアウト変更はおおむね好評であり、年代による回答の偏りも見受けられない。

(6) 発行回数変更

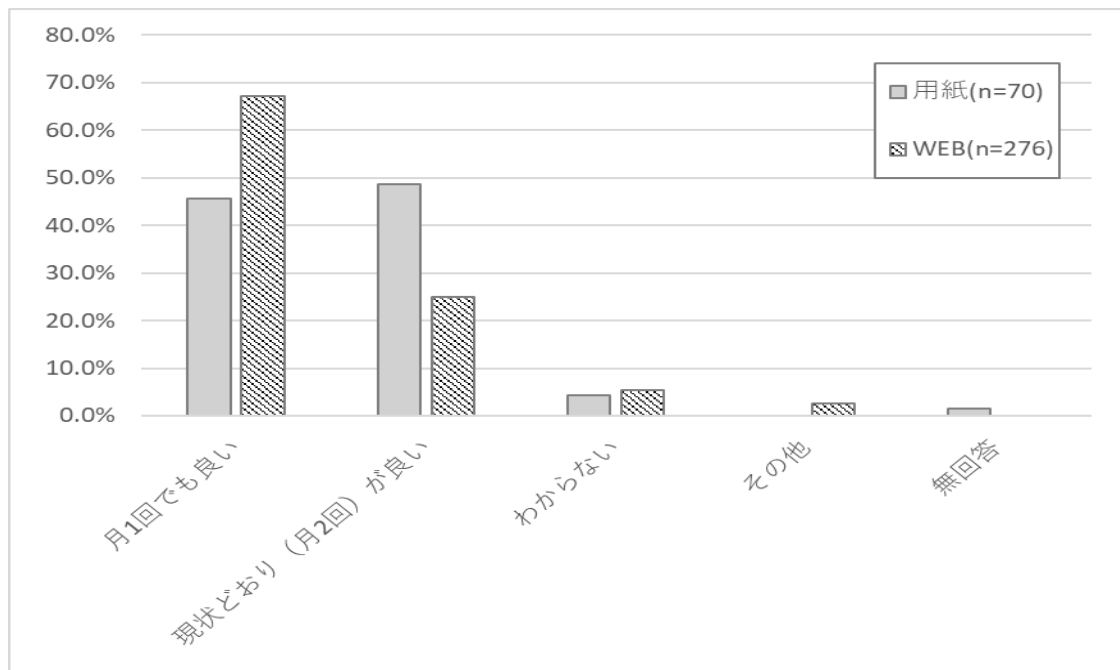
Q6 おしらせばんの発行回数はどのくらいが適当と考えますか。n=346

	月1回でも良い	現状どおり (月2回)が良い	わからない	その他	無回答	合計
回答数	217	103	18	7	1	346
割合	62.7%	29.8%	5.2%	2.0%	0.3%	100.0%

年代別回答割合

年代	n	月1回でも良い	現状どおり (月2回)が良い	わからない	その他	無回答
19歳以下	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	22	77.3%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	33	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
40～49歳	58	67.2%	19.0%	12.1%	1.7%	0.0%
50～59歳	87	66.7%	21.8%	5.7%	5.7%	0.0%
60～69歳	61	70.5%	26.2%	1.6%	1.6%	0.0%
70～79歳	57	50.9%	45.6%	3.5%	0.0%	0.0%
80歳以上	24	37.5%	58.3%	0.0%	0.0%	4.2%
無回答	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答方法別回答割合



閲覧頻度別回答割合

年代	n	月1回でも良い	現状どおり (月2回) が良い	わからない	その他	無回答
毎号読む	217	71.9%	18.4%	5.5%	2.8%	1.4%
だいたい読む (2回に1回以上)	103	82.5%	13.6%	1.9%	1.0%	1.0%
たまに読む (年3回以上)	18	61.1%	16.7%	11.1%	11.1%	0.0%
ほとんど読まない	7	57.1%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

年代別では、20～79 歳では半数以上が「月 1 回でも良い」と回答し、19 歳以下と 80 歳以上は半数以上が「現状どおり（月 2 回）が良い」と回答している。

回答方法別だと明確な差があるが、アンケート用紙で回答した人が 70 歳以上に偏っていることから、回答方法による差ではなく、年代による差であると考えられる。

閲覧頻度別では明確な差は認められない。

(7) 自由記載

Q7 そのほか広報紙についての意見・要望をお聞かせください。※一部修正あり

- ・広報紙の回数を減らすと同時に、LINE の登録や受信設定方法の周知も必要になってくると思います。ただ、LINE は通知が多いと見ずに流れてしまうのがデメリットなので、紙の広報が残ってほしいという思いもあります。
- ・内容も大した事ないのに、回覧されるのは非常に迷惑。GW とか出かけているのにポストに入っていると苦痛。区費や組合費のお金の回収も嫌。大金を持っているのが嫌。会館の維持費の金も不要だと思う。修繕のために利用も少ないのにお金を貯める意味がわからない。市民会館などで借りればいい。
- ・「お知らせばん」の三段区切になったら読みにくい。高校生の活躍している記事は良いと思う。
- ・紙ベースでの全戸配布は廃止してもよいと考える。LINE で直近のイベントを周知する取り組みは効果があります。
- ・市長直通便の回答内容を広報紙に開示下さい。
- ・広報いといがわとお知らせばんは別々に発行して下さい。
- ・HP が変わって、Web でも読みやすくなった。
- ・LINE では文字が小さく読みにくい。スマホを持たないまたは使いこなしていない方には紙媒体が必須。
- ・LINE で広報誌を確認できない場合は希望者（高齢者など）のみに配布する。
- ・Q2-4 ほとんど見ることがない。人口減、市税減、高齢者増。10 年、20 年先も見据えた持続可能な取り組みを..
- ・いつも広報は基本的にホームページからみていたので正直、紙の広報誌は勿体無いなと感じていましたが希望者だけにしても発行や配布する手間が少なくなるにしても余計にややこしくなるかもという気もしていました。発行回数は読む量が増えたとしても月一回にしても問題無いのではと思いました。
- ・イベント情報などは、年間で一覧になっているものがあると良いと思います。
- ・お知らせばん 25 日号は止めて広報誌に 1 か月分を掲載する。経費の節減。
- ・お知らせばんという名前をなくしていいと思います。以前はお知らせばんと広報が別の冊子だったので、広報いといがわの中にお知らせばんコーナーが入っていても、いまだに高齢の父母たちがお知らせばんを探します。
- ・お知らせばんのイベントなどの表題の文字を大きくしてほしい。すべて枠を同じ大きさにした方がみやすいと思う。（すべて 2 行で対応するといったイメージ）
- ・お知らせばんの回数について。月 1 回だと記事が多くなって見落としが出そうな気がする。制度などに関するものはお知らせばん、イベントの案内は SNS など、内容によって掲載媒体を分ける・記事数を絞るなどしてもよいのかもしれない。
- ・お知らせばんは従来の 2 列配列にレイアウトを戻して欲しい。英字略語が多くなって年配者には理解難しくなった。
- ・お知らせばんの充実。催しなど。
- ・お知せやイベント等の広報が非常に多く感じるとのイベント等の結果等の報告等お知らせがほとんどない。少し結果情報等有っても良いのではないのでしょうか（イベントの参加者の感想等）
- ・お知らせばんへの掲載締切が早すぎる。

- ・かなりの部数、もったいないと思います。回覧板で回覧して、必要な事は、各メモするなり、写メするなりで。実際、読んだら捨てています。そのお金？を他に活用しても…と。
- ・このアンケートの回答率を公表してほしい。市職員の回答率は別に公表してほしい。理由としては、市の発行物に対しての職員の意識をしりたい。
- ・スマートフォンを利用している方には、広報紙は必要ありません。各世帯に希望を取り、広報紙が必要な世帯だけ配付すべきです。
- ・スマホで、PDF じゃない様式で見られるようにしてほしい。
- ・その月に行われる行事だけではなく、少し先（季節毎）の予定がわかると、糸魚川に來たい人にPRしやすい。
- ・ネットで閲覧できる時代になった。町内会で役員が全戸配布しているが、役員の負担が大きい。市役所や各地区の公民館等へ各自で取りに行く制度にしてもらいたい。
- ・ネットで最初に見て、紙で後から見えています。
- ・ネットの場合は、市政への用望枠があれば。今日は市役所でこれを知りました。行かなければわからなかった。
- ・ペーパーでの配布係は当番制で高齢者には負担となっている。電子回覧板を導入し全ての配布物（市、学校、警察、各協議会?団体）をペーパーから変更していただきたい。紙の印刷?廃棄代金は多大だ。人口減少、高齢化、住民の自治会との関わり希薄（自治会継続の為に労力削減）、予算の有効利用。大きな見直しをお願いする。
- ・ペーパーレスの時代に移行している中で、広報誌を全戸配布というのはいかなものか？と思います。デジタル機器を持たない高齢者にとっては、現状維持がベストなのかもしれませんが、せめて月に一度の配布で良いのではないのでしょうか？また、必要ではない世帯には配布しないというのも、最初は把握が大変かもしれませんが、後々のことを考えると資源の節約になるのではないのでしょうか？
- ・ホームページでの掲載は、PDF データそのままではなく、HTML 化したレスポンスデザイン対応ページとして載せたら読みやすいと思います。PDF ならスマホで読みにくく、目が不自由な方には使いにくい。発行回数については、月 1 回でもいいかもしれませんが、その分、ホームページや LINE による情報発信を強化する必要があります。スマホやパソコンを利用しない高齢者への情報発信はどうなるか心配します。
- ・ホームページや 2 次元コードの操作ができない父（92 歳）。毎号「人口統計」を見ることを楽しみにしていましたが突然見れなくなりました。僅かなスペースです。どうか以前のように紙面で数字表示してほしいです。
- ・ほぼ全ての人が一般的な情報をスマホ、タブレット PC で取得するのは時間の問題といえます。行政の立場としてはなかなか困難かもしれませんが、どこかのタイミングで全て電子媒体に移行するのが良いと思います。また、同じ努力なら移行する方に力を向けた方が良い気がします。
- ・メルマガ的に安心メール登録者への配布、スマホなしや高齢者にあつてはタブレットデバイスの貸与で対応。
- ・レイアウトは以前と変更されたとか、、、特にどこが変更されたのか私には変化を感じてなく申し訳ありません。1 ヶ月 1 回でも十分に思います。
- ・わかりやすい説明記載をお願いしたい。
- ・何でもネットはいかなものなのでしょうか。お年寄りはお自分の親もですが今までのままの紙がいいです。全部の人がネットができるわけがありません。その人その人にあった配信の仕方がいいと思う。配布は大変ですが楽しみにしている人がいる事を第一に考えてください。
- ・過疎地は住んでいる人が少なく、大変な組もある。一概には言えないが、たぶん各世帯に一人はスマートフォンを持っているのではないと思う。なるべく紙からデジタル化の移行をしてもいいのではないと思う。

・我が家の場合は夫婦二人だけで二人ともスマホで閲覧しています。紙に印刷されたものの配布は要りません。自治会に入っていない家庭にはどのようにして配布しているのでしょうか？もしも配布していないのであれば、それと同じ要領で我が家への配布をなくしてもらってください。おしらせばんの発行について負担に感じているのであれば回数を減らしても構いませんが、必要に応じて臨時版を発行していただくのは如何でしょうか？

・各世帯に配布不要。ネット環境が整っていない世帯もあると思うので回覧で閲覧。

・各地区で配布していますが、広報紙でも QR コードが多い中、ネット配信に重きをおきネットが不得意な方は本庁、事務所に取りに行けば良いと思う。取りに行けない人からの不満もあると思うが、取りに行けない人は各情報が不要な人だと思う。

・確かにスマホで見ることもできるでしょう。ただ、スマホで見るから紙媒体は要らないと直結するのは乱暴だと思います。どんなことでも NO の意見は届きやすく NO と感じていない人たちは声を発さないため届かないという面があります。スマホや PC 環境を全市民が手にしているわけでもないので公平にもならない気がします。私は「どこでそれ知った？」と聞かれますが、ほとんどがおしらせばんです。実はみなさん検索してません。

・議員さん達の活動など教えて下さい。

・共働きや高齢者の増加により、広報を配布する負担が大きい。配布回数が月 1 回になることを望む。また、配布回数が減ることで、配布物を作成する負担も減る。情報が必要な場合は、ネットで確認することができる。ネットで発信する方向に進むのなら、ネット代の補助など月 100 円程度でもよいので、市の独自の取り組みとしてみても面白い。広報を受け取り選択をすると 100 円補助もありか。時代の変化に即していく必要がある。

・近所の住民との情報確認や安否確認の意味合いも兼ねているので、月 2 回の訪問は重要である。

・携帯で閲覧できるので、各家庭に配布することは今後考えてもいいと思いますが、高齢化社会なので携帯で閲覧できない方の為に回覧板で各家庭にまわすとか、各公民館や支館に置くなどしてもいいと思います。また必要な会社や施設もあるかと思うので事前に部数を確認するなどしてもいいかと思います。広報は大事な情報の発信する物なのですが、月に 1 回程度でもいいのではないのでしょうか？

・経費、手間を考慮し、広報誌類のデジタル化も否定はしませんが、高齢者など IT 弱者も多いことから、一定程度の紙による広報も残すようにお願いします。

・月に一回ほどでもよいと思います。やはり毎日忘れるのでよていをくみたいと思いますのでもう少し分かりやすくしてほしいと思います。急がしい自分ですのでよろしくお願いします。

・減らせるもの減らして経費削減してください。

・現在、各地区に配布されたものを、組長が紙ベースで配布された配布するシステムは古いし、メリットがほぼ無い。コストと時間を考えたら、紙ベースのみの方への対策も含めて、直ぐにでも改善した方が良くと思う。”

・個人的には紙媒体の物はゴミになるので必要ではありません。

・御年寄の世帯では携帯等で情報を見るのは難しい気がします。かといって、毎回配布する手間を考えると大変なのは確かです。回覧板で月 1 回まわして頂く事は出来ないかと考えます。

・広報いといがわとおしらせばんは別々の方が読みやすいです。

・広報いといがわの表紙は”顔”であるため、他市のように気合の入った写真をお願いします。

・広報のデジタル化については推進していくべきだと思います。ただ、スマートフォンを持たない方、インターネットの接続ができない方の対応を丁寧にする必要があります。そこで、デジタルと郵送の希望制にして多少費用がかかっても郵送希望者の対応を行い、段階的にデジタル化にしていくしかないと考えます。また、地域の組長さんによる広報の配布について、高齢者が多い組ほど負担に感じています。聞き取りも必要かと思っています。

- ・広報の中におしらせばんが入っているのはいいと思います。おしらせばんも月1回で広報は大切なものだ実感するのでより読むし、大事にしてあつかうと思います。スマホ時代とはいえ、まだ紙媒体の人口は1/3は必要だと思います。ご苦労ですが、頑張ってください！
- ・広報を全戸に配布するのは効率が悪い。また、公民館組織も今後の人口減少などで負担になってきており、SDGsの観点からも紙での配布は資源がもったいない。公民館等に無人時でも簡単に持っていけるように数部設置し、webで読めない人、紙で保存したい人は個人でとりに行くように変更すればよいと思う。
- ・広報紙のあり方アンケートは紙でいただいたので、アンケートが提出できます。QRコードはなかなかできません。
- ・広報紙のトップ写真を市民から公募してほしい。写真好きな人から。
- ・広報紙の目的を再確認する必要があると思います。目的自体を見直すのか、手段を見直すのか。
- ・広報紙はもちろん、回覧板も廃止してほしい。
- ・広報紙は市の活動やイベントの様子を見る雑誌的な感覚で読んでいる。HPは目的があって情報を得るために使用している。目的が異なるので、目的にあったメディア展開で作ると良いかなと思う。
- ・広報紙は必要だと思う。月1回でもいいから配布して欲しい。今、携帯でも市の情報はわかるが、今後、年を重ねたら、携帯で見れるか不安もある。
 - ・広報紙を無くしてしまうと困る市民も出てくる。若者にはスマートフォン等で配信をしても良いと思うが多分見ないと思われる。
 - ・広報誌にロゴフォームのQRコードをつけて、紙が良いかアプリ通知が良いか返信してもらうとか。
- ・広報誌は月1回でもいいので発行してほしい。回数減らしてもいいのではと思ったのは、昨年度自分が住んでいる社宅の棟の配布担当に当たり、月2回の配布が負担に感じたから。同時に回覧板を回す準備をしないといけないので余計大変だった。これが月1回であればさほど負担に感じなかったと思う。発行してほしいと思った理由としては、調べたいと思ったことがないとホームページを見ないから。
- ・広報担当の人たちは記事にするのが、なかなか大変だと思いますが、住民には必要だと思うので、これからも、お願いしたいと思います。
- ・行事や補助事業を知るうえで大切なツールです。ただ、山間部では隣家が離れていることや、高齢化で配布も大変になっていることは事実です。また高齢者はSNSなどが不慣れのため、紙媒体が良いのではないかと思います。
- ・行政区の組長が広報誌を配布していますが高齢世帯では組長活動が困難になっている家庭が増えてきました。それでも無理をして引き受けている方が多いです。紙ベースで続けるなら組長ではなく郵便や嘱託員制度の活用を強めてほしい。市は組長制度の実態を深刻にうけとってほしい。その他、赤い羽根や社協の会費集めなどは区ではなく主体者が責任をもってやってもらいたい。
- ・高齢の班長の配布の負担を考えると月2回は多すぎる、月1回で良い。また、新聞と一緒に配るチラシのように業者に委託できないかも検討してほしい。カラー印刷にお金をかけるより配布にお金を使った方がいいと思う。デジタルで見れるのなら紙を配布する必要もないが、そのことを知らない人も多いのではないかな。
- ・高齢化が進み、高齢者では無い世代にも負担が多くなっているので、紙媒体配布は中止して、ホームページ・LINE・安心メール・Instagram等で広報する方法に切り替えて良いと思っています。

・高齢化により、地域の組長になっても体が悪くおしらせばん等を配布できないとのことで、地域の中で比較的若い人に市からの配り物の仕事が集中しています。比較的若いと言っても50～60代で、体力も若くなく、平日は仕事もある為負担になっています。どうしても紙で欲しい人のみ、郵送代金を添えて申し込み等を行い、市から郵送する、などでも良いのではと思います。

・高齢化に伴い おしらせばんの配布回数を減らした分、外部委託も一つの選択肢になるのでは。各地域での配布者募集で小さな雇用も生まれる（しっかりとしたマニュアル必須+見守り機能追加等）。ウェブへの移行はスマートフォンをкаろうじて使用程度のシニア世代には厳しい。イベントなどの参加申し込みや問い合わせなどウェブから出来るなども検討していただきたい。広報での告知が小さいコスト削減の金額提示もないでは伝わらない。

・高齢化の地域なので配布は厳しくなってます。その上冬の積雪があるときは負担としか思えません。ペーパーレスの時代にあってないのでは？

・高齢者の割合が増えて来ている事から、紙ベースの広報紙は継続して欲しいと思います。保存用の背表紙の配布があれば、もっと嬉しいです。

・高齢者は必要（大事）な情報を見落としがちです。おしらせばんは情報が多すぎて何を見たらよいかわからず、、、高齢者に必要な情報はおしらせばんだけではなく、数回知らせる方法（ケイタイを使えない前提で）があって欲しいです。

・高齢者宅のみに配布をする。または回覧式で良いのではないかと思います。若者達や中堅層はネットを利用する。少しでも節約できるのではないかと。以上です。

・今の時代LINEやネットなどで閲覧できるということや、費用の面、自治会役員さんの負担を考慮して今後は紙の広報は無くして行く方向で良いと思います。

・市のホームページがリニューアルされて以後、検索がしづらくなって困っている。

・市内に長期間、長年住んでいると、他県の良さがわからないし、又、地元の良さもわからない。広報紙も他県ではどのような内容なのか、レイアウトなどをほかの件から糸魚川市へ移住してきた人へアンケートなどを聞くの良いのでは。今は、若い人の話と市外からの人から話しを聞くことで糸魚川市の未来像を描いてみたらと思います。

・市内の範囲が 広いので本当に欲しい情報は少ない。

・私は公民館でこの用紙を知る事になりました。新市長に代り、以前のように、市長宛の葉書きを公報に全戸発布して真意を聞いてもらいたいと思います。1回になると、金銭的な面も大部変ると思います。

・糸魚川市の広報は他の市町村と比べて読みやすく、きれいです。カラー印刷で読みたい。紙だから読む。

・紙でのお知らせはまだ当分続けて欲しい。

・紙での戸別配布不要。ホームページ掲載の上、LINEにリンク貼付送信で良い。紙でほしい人は、公民館などに取りに行く。

・紙での配布は不要。資源、人件費の無駄です。

・紙ではなくホームページでの発行もしくは無くてもよい。

・紙で家に届くので、読む機会があるが紙でなければわざわざ目を通すことがない。

・紙の広報はいらないです。広報を配るのも大変では。

・紙ベースでの配布不要

・紙ベースよりライン・安心メールなどSNSでいいと思います。配布側も月2回の手間も省けていいです。けっこう大変です。

・紙媒体でなければ読めない方もまだまだ沢山いると思うので必要ではあると思うが、発行部数を減らして印刷費用を削減できないかと常々思っていた。

・字が小さくて読みにくいです。高齢者になりスマホとかからの情報をとりにくくなれば紙のものが重要です。ページ数を増やしてもいいです。

・自分的には月1で良いと思うが、広報紙でしか情報入手できない高齢者も大勢いるので安易に発行回数を減らすのは良くないと考えます。

・少し前市の広報誌発行を1回にした事がありましたが、地域の広報誌が25日配布で月2回配布作業をする事になりそうなので、変えないほうが良い地域もあると感じました。

・情報を得る手段としてとても活用している。発信回数は減らさずに紙での発行を少なくしたり、データのみ発行など、現状の発行回数を維持できるやり方を模索してほしい。

・色々大変かも知れませんが、楽しみに待って居る人達も居るし、スマホでも見た事が、ありますがやはり紙の方が見やすいと思うから止めて欲しく無いと思う。

・青海町時代の広報には保育園児の絵、小学生の将来の夢、若者の声、高齢者の自叙伝などがあったが、現在の広報にはなく、一度見たら終わりで全く面白くない。合併から20年経つが市内にどんな人が住んでいるのかが見えず、町の魅力が感じにくい。今はプライバシーの問題もあるが、例えばHPで市外にも公表する分はイニシャルなどでもよいので、もっと町の人々のリアルな姿が感じられる誌面になってほしい。

・昔からの習慣で、紙で読む習慣になってますが、市のHPのPDFで読んだりもします。PDFで読めるくらいだから、LINEなどで読むこともできると思いますし、紙媒体が必要でない世帯は、選択制にしてデジタルに変更しても良い気がします。

・全戸分を紙で用意する必要はないと思います。特に若い世代や、スマホを持っている人は、必要な時に必要な情報を得ることが出来るからです。また、市役所の方の負担、それを配る市民の負担、それににかかる費用などを考えると全戸分を用意する必要のある要素は見当たらないです。各地区でアンケートを取って、必要な人にだけ配るという方法で良いのではと思います。

・即日ゴミ箱行きになり資源がもったいないので、全戸配布ではなく、回覧板で回す程度が良いと思います。回覧に日数がかかる分、早めに作成して地区役員宅に届くようにして頂かなければなりません。

・他の市町村の広報等をみて良いと思ったものがあれば取り入れてみても良いのでは。

・地区の役員が仕分けと配布を行っているが、役員も高齢の方ばかりのため、負担が大きいと感じる。一人暮らしの若者は広報紙を見ない人も多いし、紙の無駄にも感じる。興味がある人や見たい人は自らHPやラインで見てると思う。全ての家に配るのをやめて、基本はデジタル、どうしても紙が良い希望者には郵送でも良いのでは？

・地区役員による配布は負担が大きい為、廃止とすべき。もしくは老人世帯のみに配布すれば良い。

・転入して13年目になりました。糸魚川市に付いて早く馴染もうと毎日丁寧に読んでいます。スマホを使わないので二次元コードを読み取ることは出来ません。この用紙と同じ内容であればよいのですが内容が違っていと困るなと思っています。私はPCでホームページを読む事が出来るので紙媒体の広報が無くなっても10日と25日に読むことが出来ます。しかし全員が紙媒体は無くしても良いと考えることはあり得ないと思っています。

・電子化していくのは良い方向だと思いますが、「スマートフォン等の普及により市民が様々な手段で情報を取得できるような環境になっていることから、」これができる人は何パーセントの人たちでしょうか？私は50%以下だと思います。そうだとすれば、紙と併用することが必要だと思います。

・電子版で読みたい方には新着情報としてプッシュ通知し、ホームページで見るようなかたちでよいと思います。

・同じ相談や教室などの内容が多く、目新しい内容のものが埋もれているように感じます。

・二次元コードは便利なので、いいと思うが、お年寄りや二次元コードを使うことの出来ないひとには難しい。このようなアンケートも、意見を言いたくてもできない人もいると思う。

- ・年なので若い人年だからかんがえて
- ・年代によっては、紙媒体しか情報を得られない。
- ・配信回数は増やして良い。（簡易版）紙での配布は月一回、二月毎に一回（簡易版を統合したもの）紙の経費を削減した方が良い
- ・配布する人が大変というなら欲しい人が 公民館なり市役所へ 取りに行くと言うのもありかな と思います。
- ・配布に負担があるなら、LINE で送るのも良いとおもいます。ただ、あれもこれもと SNS を広げるとわかりにくいので、一つに絞って表示させればよいのでは？
- ・配布負担を考えると月一回が妥当だと思うが、掲載内容によっては月二回が妥当なのも理解できる。掲載内容が少ない時期は月一回にするのもいいのでは。
- ・発行回数の検討も必要かもしれませんが、周知方法の検討も重要だと思います。
- ・発行回数の見直しはやむを得ないと思います。情報提供を行う側にとっては締め切りが厳しくなりますが。
- ・費用対効果を考えるとどうしても紙で配布を希望する方のみ紙で配布することにすぐに変更する。
- ・夫婦共働き、部活動の地域移行で、子育て世代にかかる負担が少しでも軽減されればと思います。
- ・文字が小さくて読みづらい。
- ・変更により字も小さく読みにくい。家族は以前よりあまりていねいに読まない方だったが、より目をとおす事がない。
- ・毎回楽しみにしてます。催しものは参加できないこともありますが紙面で様子がわかり次回参加しようと思うことがあります。これからも発行を続けてくださいよろしくお願いします。
- ・夕方 6:45 の放送ですが、生活にかんするミニ情報を放送してほしい。例：季節の花の紹介、季節の料理の紹介など、、
- ・予算削減、配布の負担軽減等につながるのであればホームページのみの配信でも問題ないと思います。例えば広報誌配信日に安心メールで発表し、URL や QR コードを付ければ、市民のホームページ視聴増加効果も見込めたりしないでしょうか。まずは他市の類似事例の情報収集からでしょうか。勇気のいる変化もいつか市民は慣れ、スタンダードに変わる時が来るかもしれませんね。
- ・良いと思います。ご苦労様です。
- ・老人のための記事が少ない。